

読書感想文の書き方

>>> TOSS 福井 村上睦

概要

短い教材文を用いて、実際にミニ感想文を書かせながら読書感想文の書き方を指導する。1時間で基本的な書き方を教えることができた。宮澤宏祐氏の実践の修正追試。(修正点は最後に示す。)(TOSS 福井推薦)

教材文の提示

教材文には、道徳の副読本に掲載されている『木箱の中の鉛筆たち』(神津カンナ)を使用した。

理由は以下の通り。

適度な長さ。(約5ページ。7～8分あれば範読できる。)

生徒の体験談を引き出しやすい。(夢をあきらめかける作者が、木箱の中の鉛筆たちを見るところで自分を励ますという体験談が、生徒の生活体験と重なりやすい。)

心に残る場面や言葉がいくつかある。(全員が「心に残った部分」に線を引くことができる。)

読書感想文の書き方を勉強することを伝え、教材文を範読する。

読書感想文の書き方指導

文章を読んで心に残った部分、感動した部分に線を引きなさい。

板書
心に残った部分

1つの場面でも、誰かの言葉でもいいことを説明する。

長さは自由。

何ヶ所引いてもいい。

しばらく時間をとったあと、発表させる。

数人に聞くと、みんなバラバラであった。

「自分が心に残った部分」なので、どこでもいいことを告げる。

線を引いた部分を、プリントに書き写しなさい。

板書
私がこの本を読んで心に残ったのは、次の場面(言葉)です。
.....

「型」を示して書かせる。

読書感想文の書き方指導

次は、線を引いた部分に関連する自分の体験を書きます。

板書
関連する自分の体験

関連するというのは、「似たような体験」「正反対の体験」などです。

「自分の体験」がベストだが、難しい場合は、「聞いた話」や「ほかの本で読んだこと」などでも構わないことを説明する。

補足

それでも数名、書けない生徒がいたので、難しい場合は「の部分を選んだ理由」でも良いことにした。

板書
私は.....

このが、読書感想文の一番大事な所です。自分の体験をしっかり書けると、質の高い感想文が書けます。

読書感想文の書き方指導

最後に、とをくらべて思ったことを書きます。

板書
とをくらべて「思ったこと」「考えたこと」「感じたこと」「気づいたこと」「学んだこと」.....

くらべて思ったことなら何でもいいから自分の言葉で書くことを説明する。

読書感想文の書き方指導

あとは、またほかの場面を取り上げて、をくり返して、原稿用紙4枚ぐらいになるまで書きます。(応募規定は5枚以内)

板書
をくり返す。

そして最後は、本全体を通しての感想を書きます。

板書
全体を通しての感想

を何度かくり返して感想を書いていますから、それらをまとめるように書けばいいのです。

「この本を読んで、.....ということ学んだ。」

「この本を読んでから、私は.....というふうに生きたいと思った。」

などのまとめ方を簡単に説明する。

には、1回だけでは難しいと判断したため。)